



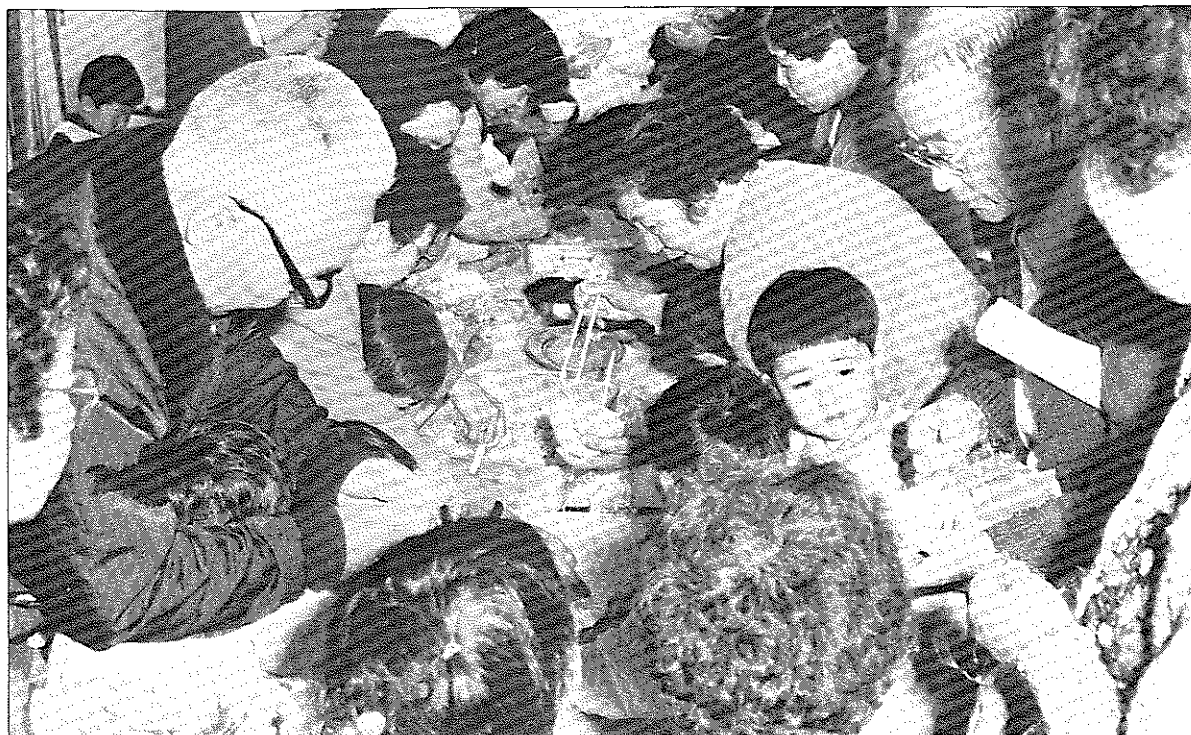
ともに生きる人間のまち…みほ

第 4 号

平成元年 8 月 1 日

編集 発行
社会福祉法人
美浦村社会福祉協議会
老人福祉センター内
☎ 85-0038

社協だより



ただいるだけ

詩 相田みつを

あなたがそこに

ただいるだけで

その場の空気が

あかるくなる

あなたがそこに

ただいるだけで

みんなのこころが

やすらぐ

そんなあなたに

わたしもなりたい。

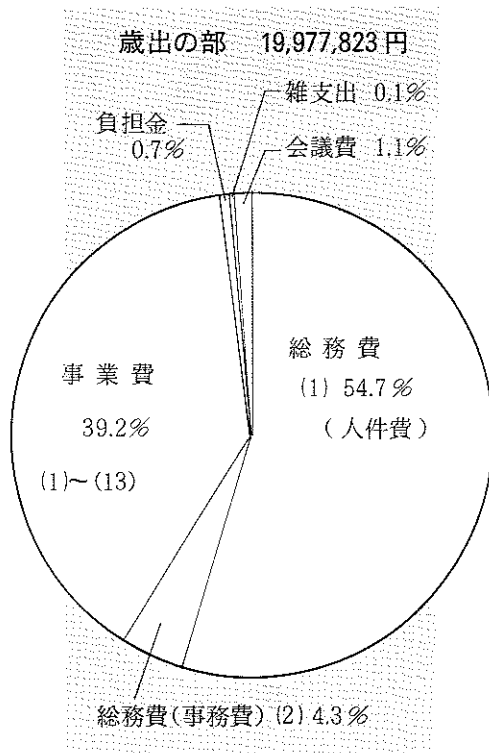
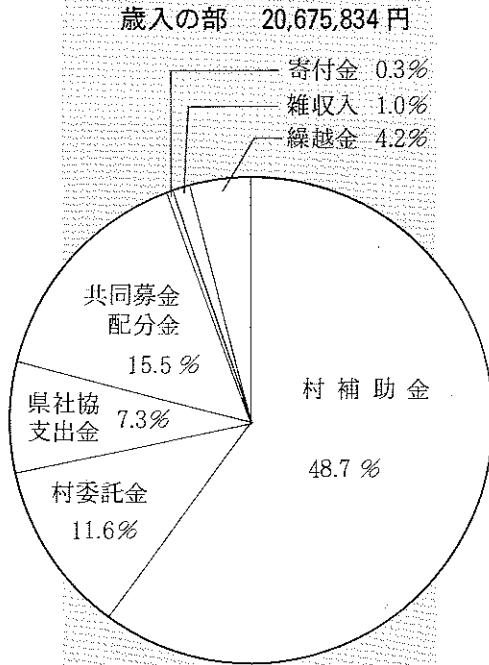
昭和63年度の決算報告

平成元年 5月15日、定期評議員総会で決算承認をいただきましたので報告いたします。

総収入は 20,675,834円、支出総額は、19,977,823円となり次年度へ 698,011 円の繰越額となりました。収入では、共同募金の御協力が増収となっております。

支出は事務費関係の増がりましたが、老人福祉を中心とする事業の伸長をみたほか特に大きな変化はございません。

事務費の人件費は、役場からの 100%の助成となっております。



昭和63年度一般会計収支計算書(単位 円)

1. 歳入の部

1. 会費	2,361,600	11.4%
2. 村補助金	10,061,000	48.7%
3. 村委託金	2,400,000	11.6%
4. 県社協支出金	1,505,000	7.3%
5. 共同募金配分金	3,214,521	15.5%
6. 寄付金	49,500	0.3%
7. 雑収入	211,281	1.0%
8. 繰越金	872,932	4.2%
計	20,675,834	100%

2. 歳出の部

1. 会議費	213,100	1.1%
2. 総務費	11,792,167	59.0%
(1) 人件費	10,927,506	54.7%
(2) 事務費	864,661	4.3%
3. 事業費	7,836,256	39.2%
(1) 児童福祉費	170,700	
(2) 母子、父子、福祉費	30,000	
(3) 老人福祉費	1,775,671	
(4) 心身障害者福祉費	65,500	
(5) ボランティア活動費	502,375	
(6) 世帯更生資金	49,500	
(7) 広報活動費	193,150	
(8) 善意銀行推進費	12,000	
(9) 研修費	124,800	
(10) 歳末援護費	1,444,760	
(11) 福祉教育費	177,800	
(12) 繰出金	2,855,000	
(13) 団体助成費	435,000	
4. 負担金	125,700	0.6%
5. 雑支出	10,600	0.1%
6. 予備費	0	
計	19,977,823	100%

平成元年度一般会費及び特別会費の報告

(平成元年6月30日現在)

◆一般会費

行政区	戸数	金額	行政区	戸数	金額
浜	65	32,500	八井田	40	20,000
登山	60	30,000	根井	37	18,500
田戸	33	16,500	牛込	28	14,000
上後	38	19,000	木	17	8,500
郷受	37	18,500	定本	17	8,500
大須賀	32	16,000	間土	34	17,000
茂宮	96	48,000	端馬	15	7,500
余石	96	48,000	馬見	78	39,000
根須	92	46,000	大馬	18	9,000
須賀	22	11,000	山東	19	9,500
呂地	30	15,000	掛山	41	20,500
郷灘	38	19,000	山部	100	50,000
屋賀	175	87,500	美駒A1	67	33,500
妻分	50	25,000	美駒A2	90	45,000
原津	17	8,500	美駒A3	87	43,500
台屋	45	22,500	美駒A4	104	52,250
子塚	32	16,000	美駒A5	78	39,000
中王	84	42,000	美駒A6	104	52,300
内	95	47,500	美駒A7	88	43,800
佐舟	190	95,000	美駒A8	108	54,000
大谷	161	80,500	美駒A9	105	52,500
山	201	100,500	美駒B	117	58,500
	27	13,500	美駒C	62	31,000
	14	7,000	美駒D	30	15,000
	15	7,500	美駒E	16	8,000
	21	10,500	美駒	113	56,500
小計	1,716	883,000	小計	1,613	806,850
			合計	3,379	1,689,850

◆特別会費

特別会費	金額	特別会費	金額
細谷建設工業株式会社	30,000	緑素興	10,000
美浦総合商社	30,000	本夕ナ	10,000
日本テキサスインスツルメンツ	30,000	美浦村助	5,000
稲敷農協安中支所	10,000	美浦村助	5,000
美浦ケ農協	10,000	美浦村助	5,000
美浦ケ農協	10,000	美浦村助	5,000
東農産株式会社	10,000	美浦村助	2,000
美浦都市開発株式会社	10,000	美浦村助	84,500
美霞ケガ農機工業株式会社	10,000	美浦村助	3,500
美浦電機工業株式会社	10,000	美浦村助	7,500
美丸井川建設工業株式会社	10,000	美浦村助	5,000
昭和美浦ハイパースポーツ	10,000	美浦村助	14,000
昭和美浦ハイパースポーツ	10,000	美浦村助	21,000
昭和美浦ハイパースポーツ	3,000	美浦村助	12,000
昭和美浦ハイパースポーツ	10,000	美浦村助	20,000
昭和美浦ハイパースポーツ	10,000	美浦村助	7,500
昭和美浦ハイパースポーツ	10,000	美浦村助	5,500
昭和美浦ハイパースポーツ	10,000	美浦村助	54,000
昭和美浦ハイパースポーツ	3,000	美浦村助	40,000
昭和美浦ハイパースポーツ	3,000	美浦村助	
小計	236,000	小計	321,500

社協活動の原動力は、村民各戸協力による会費等の拠出に大きな比重がかかっていることは云々までもありません。三千三百余世帯の皆様と、特別会費として、村内にある企業並びに、村議会議員、民生委員及び村内官公署等に勤

務される職員の絶大なる御協力があります。福祉の需要の増加するなかで、関係者の皆様方の御好意にあらためて感謝を申しあげ、別記の通り報告をさせていただきます。

ありがとうございます。

ニュース

特集

みんなで進めよう!!

ボランティアを迎えて



今日は寝たきり老人の入浴日。ホームで一番忙しく、大切な介護をする日である。何時ものこととは言え、緊張するように、「おはようございます。」と玄関に明るい声が響く。美浦村のボランティアの方々が来荘されたのだ。ボランティア講座をきっかけにして、それ以後何回か寝たきり老人の入浴日に来荘されている。明るい笑顔が、ホームいっぱい広がる。その明るい笑顔が職員の緊張感を解し、利用者の心を和ませてくれる。「今日は、何を手伝いませ

うか。「今日の予定とか、やりたいことはありますか。」「何でも良いのですが……」こんなやりとりの後に、入浴介助と衣類の交換をお願する。入浴介助をする方は、Tシャツにエプロンと準備し風呂場へ、他の方は各居室へ急ぐ。初めての時は、なかなか声を掛けることができず、黙って立っていた方も、今では、「おばあちゃん、おはよう。今日はいいお天気で気持ちいいね。」笑顔と共に声を掛け居室へ入っていく。風呂場から笑い声が響いてくる。「おじいちゃん、頭を洗いますからね。」やさしい言葉と共に介助が進む。「自分で洗えるところは、自分で洗ってね。」担当の職員と協力し、細かいところにも気を配る。居室では、「お風呂は気持ち良かったですか。」とおむつをしていく。衣類交換をしながらか主婦の目を活かし、気がついたことを知らせてくれる。お母さんの温かい雰囲気、ホーム一杯に溢れる。食事介助も回を重ねるごとに、相手に合わせるのが上手になる。ひとつひとつの食べ物を説明しながら、ゆったりと介助している。積極的に仕事を捜し

利用者には何が援助できるかを常に考えているボランティアの方から、「仕事の邪魔をしてご迷惑では……」とか「これで良いのでしょうか。私たちにやれることがあったら言って下さい。」と声を掛けてくれる。

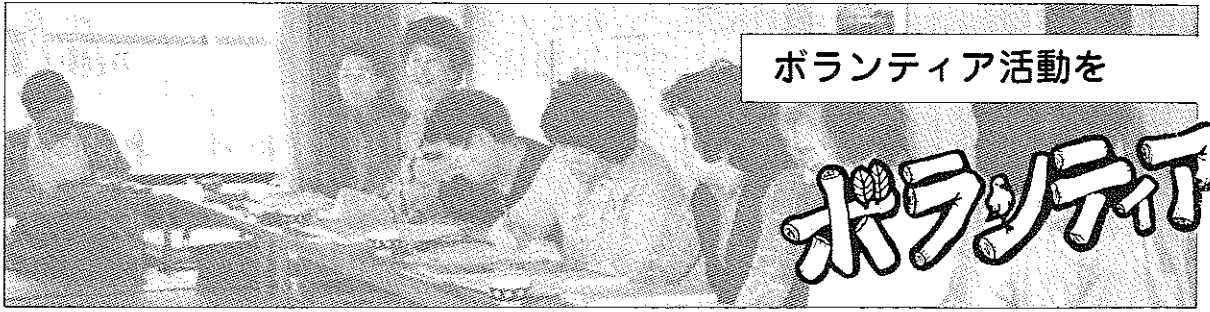
ボランティアとは、自分の好きなことを自ら進んで行なうのが原則だと思う。だからといってすぐに何でもやれる訳ではない。ホームの状況を把握し、何が必要で、何がやれるかを判断することも大切である。それには、施設自らがボランティアの方々に理解を求める努力も必要なことを意味している。いろいろな援助をして頂くのも、ホームや老人福祉の理解を得る為の一つの方法として考え、その中から自分のやりたいこと、やれることを見つけたい。

それが活動の継続につながり、利用者との係わりがいつそう深くなると思う。その結果が「おばあちゃん、いくつ？」と言うさりげない問いかけに、笑顔で嬉しそうに答える利用者との心の触れ合い、そして長いお付き合いをして頂くことにより、表にあらわれない利用者への喜怒哀楽まで受け止

めて頂ける日があると思う。ホームで身につけた介護の方法を地域で活かしてほしいと思う。すべての人がホームを訪れてくれる訳ではない。おたがいに少しでも楽をして介護する為、ちょっとした知識、工夫がとても役にたつことがある。すべての人が介護の方法を知っていたら、少なくともすむ苦労がたくさんあると思う。地域での核となつて、在宅者へも援助の手を差し伸べてほしい。「お世話になりました。」と言って帰路につく美浦村のボランティアの方を追う利用者の姿をみながらそんな思いを強くした。

特別養護老人ホーム 水郷荘
生活指導員

新保瑠美子

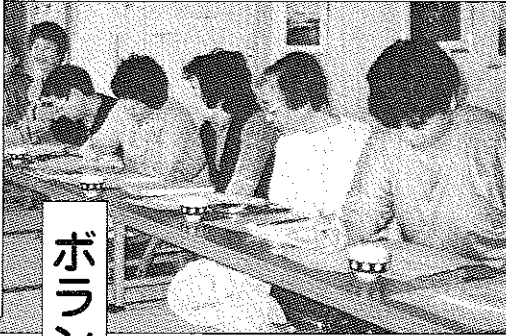


ボランティア活動を

ボランティア

平成元年度の

ボランティアの会活動計画



区 月	記念サービス (おせち料理 会等)	臨時ボランティア (水曜会)	研修会等	各種行事参加	その他
4					高齢ボランティアの会来い
5	本原ボランティア (5月26日)	クローバー (5月28日)			
6	美穂ボランティア (6月9日)	芳輪婦人会 (6月25日) 大谷ボランティア 会			
7	マーガレット	美穂 ボランティア (7月14日)	福祉学30講義		
8	大谷 ボランティア	さくら ボランティア	近城町ボラン ティア協議会 (8月10日) がら市	三世代ふれあ い事業 クロ ッケー大会	
9	クローバー	本原 ボランティア		新卒会 (9月 15日) 中央公 民館 (各クル ープから1名 参加) 三友 工業あい事業 参加がけ会	
10	芳輪婦人会		ボランティア 先進地交流会 阪社会福祉大 会及城野社会 福祉大会 (10 月31日)水戸市		
11	さくら ボランティア		福祉講座 (研究会)	文化祭補助バ ンナー 制作委員会	
12	本原ボラン ティア おせち 料理 (各グル ープ1名参加)		歳末たすけあ い運動	美穂ボラン ティアの会来い (福祉センタ ー)	
1	美穂 ボランティア				
2	マーガレット	マーガレット	ボランティア 7研修会		
3	大谷 ボランティア				

◎食事サービスの実施日は毎月20日までに決定、并發へ報告のこと
 ◎会員への連絡等は代表を通じて行う。

四月二十七日、ボランティアアグループの集いを開催。本村のボランティア活動も二年目に入りました。ボランティアとは何かなどと、素朴な疑問を持って入った頃からみると、自分の家庭を犠牲にしてまでする活動ではありませんが、今まで気付かなかった大きな発見があります。福祉を必要とする人々の生活にかかわりあいを持つことにより、自分の人生に思いを寄せることができるということ。そして自分の心がよりおお

かになるとともに、いたわりあう人間生活の原点をみつめることができることは、各人にとって大きな宝になったに違いありません。
 みんな、こんな思いで平成元年度の活動計画を検討した。食事サービスや、施設奉仕だけでなく、入浴サービスまで参加してはとの意見もありました。今年は食事サービスを倍に増やしただけでも大きな前進です。
 少しずつ、村の中にボランティアア精神、あるいは活動の

福祉講座に

参加しよう

輪を拡げて行こうと誓っています。
 (別表年間活動計画参照)

村社協では、県の「わがまちボランティア事業」の二次の指定をうけ、続いて福祉講座を開設することにしました。(村広報にてお知らせ済み)

初めて、福祉にさわってみようとする方を歓迎いたします。特にこの講座に参加したからと云って活動することにはなりません。御自分のための講座ですし、自分がいま生きている中で、あるいは将来の生き方などへの御参考になれば幸いという、お気軽な気持ちでお出下さい。

締切りは六月末日までとなっておりますが、その後も受付ます。社協事務局まで連絡下さい。

福祉講座の内容

- 第一回 福祉のあらましについて
- 第二回 老人ホームにて講義と研修
- 第三回 先進地ボランティア活動状況と有料老人ホーム視察
- 第五回 まとめと今後のあり方

みんなで進めよう!!

ボランティア ニュース

ボランティア活動を

施設見学



昭和六十三年年度の講座として、村外現地研修を三月に開催しました。

受講生は当初十三名でしたが、口コミ等もあり、さらには研修先が、県内では唯一の最近新設された有料老人ホームであったので、二十八名の参加となり盛況でした。

私達の生活で、高齢化社会の大きな関心は老後の生活をどう暮らせるかということです。水戸市郊外にあるこの有料老人ホームは、入居時に夫婦二人で二十万円のお金を納めることと、月々十八万円程度を生活費として支払うことが条件となっています。

施設はホテル並みで、物理的な生活条件は満されているようです。庶民感覚での高額の費用は非常に複雑な思いをさせられました。

他人事ではない私達の老後の人生は、こんな素晴らしい施設に入らなくとも今日まで生活して来た家庭があり、地域があり、そして仲間達が居る。それぞれの環境で暮らせるよう、温みの心ある、豊かな地域づくりを、みんなで作る努力をしなければと心をあらたにした研修でした。

施設のお年寄りとの花見交流



美駒ボランティア(代表左近政子)は、さる四月三日、桜川村浮島にある老人ホームの松風園で生活している人達二十五名と併せて美駒地区老人クラブ会員を招待し、ボランティア会員の参加によるお花見交換会をいたしました。

この日は、天候が悪く戸外での花見が出来ず美駒厚生会館での食事会となりました。

会員の腕によりをかけた昼食をはさみ、お年寄り達のお話しあいに、桜の花以上の楽しみがあったものと思えます。

松風園のみなさんが、施設から出て地域に住む仲間達と交歓することは初めてのことです。大変楽しみにしていたそうです。高齢化社会は、余儀なく施設で生活しなければならぬ人達が増えることでしょう。

私たちは、同じ仲間として人と人とのふれあいの中で生活できる権利を持つものです。一人でも多く、美駒ボランティアの会員の心づかいを持ちたいものです。

ボランティア協力校に指定

美浦中学校

本年度から三ヶ年に亘り、県社会福祉協議会より、茨城県児童、生徒のボランティア活動普及事業協力校の指定を受けました。

生徒の社会福祉への理解と関心を高め、ボランティア活動の実践を行うこととして、本村では美浦中学校にお願いすることにしました。

具体的に七月に県に於ける説明会のあった後に学校に適応した事業に取り組むことになりました。関係機関等の御協力をお願いいたします。

老人クラブだより

美浦村老人クラブ連合会趣味クラブ部長名簿(平成元年度)

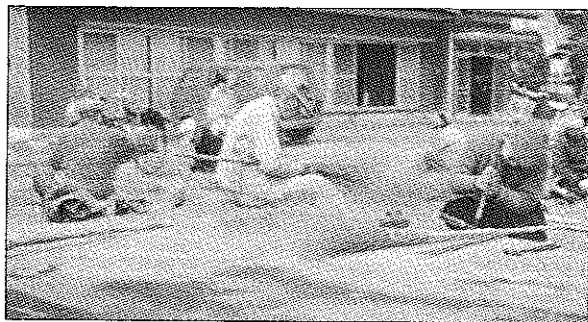
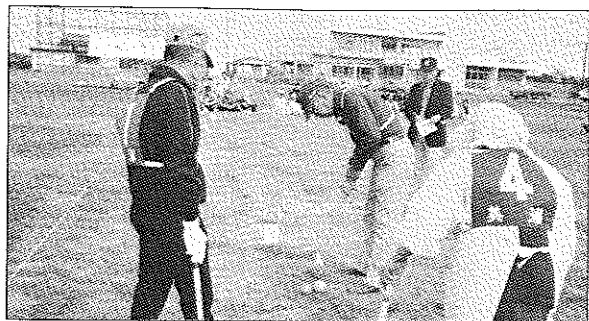
クラブ名	部長名	住所	電話	部員数
クローカー	吉田 憲一	木原401	85-1225	243
民謡	神保 治平	信太1273	85-4150	44
歴史	正慶 茂雄	八井田491	85-0083	130
書道	小沢 起一	大谷1608	85-0609	23
将棋	正慶 茂雄	八井田491	85-0083	20
盆栽	栗山 晟	木原489	85-2306	37
文芸	増生 源二	布佐801	85-4087	20
写真	橋本 一夫	布佐1124	85-4171	31
ダンス	細谷 寛	舟子1814	85-2034	26
生産	宇津木忠三郎	大須賀津270	85-1675	49

趣味クラブに参加しよう



長寿社会を健やかに生きることは、健康の保持と趣味を持つことと言われています。多くの仲間との交流から、生きがいをもつためにも、ぜひ

参加してほしいものです。申し込みは、別表各趣味クラブ部長まで、電話で結構です。



老人クラブもボランティア活動

長寿社会といわれることは、お年寄りが増加していることを意味します。高齢となれば、体力の衰えは免れません。自分の意志にかかわらず、寝たきりになったり、また、ひとりぐらしの生活をするようになる場合があります。これは人間社会に生きる自然現象とも言えます。

最近の福祉は、このような境遇の人達にいたわりや、助けあいの心を地域の中で掘っていくという考え方が強く

なって来ました。

わが老人クラブも、クラブ活動としてこれらの世帯を訪問することになりました。年三回、社協で用意した茶菓子を持参し、お話しを中心とする慰問をし、特に寝たきりの人は喜んで待っていてくれるようです。

あすは我が身ならずと誰も保証はないのです。こんな思いやりを長く続けたいものです。

老人クラブで食事サービス

郡社会福祉協議会の事業として、地域老人クラブに委託し、ひとりぐらし老人を囲んでの食事を実施しております。今年、浜宿老人クラブ(会長、葉梨武雄)が指定をうけ、毎月一回実施することになりました。

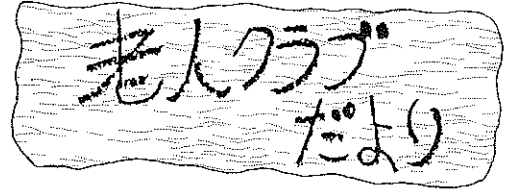
これは、お年寄りの仲間達がひとり暮らし老人との交流

をもち、お互いのいたわりの心で、地域の中で安心して暮らすことが出来るようになって欲しいという思いがこめられております。

長寿社会を迎える社会では、特に、自然に各地域で活発に行われるよう期待されているものです。

盆栽クラブ

部長 栗山 晟



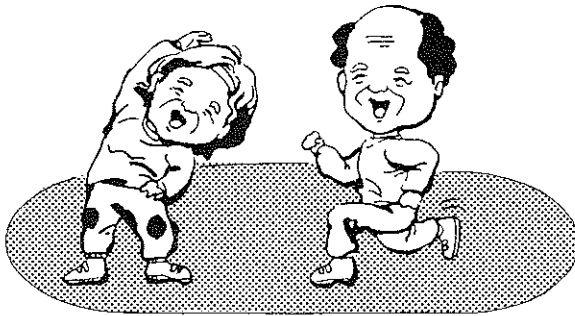
自然を愛する人は心が優しいと言われています。盆栽は黙々として人間の愛情に支えられて生きる植物です。

従って、慈しみの心を怠れば枯れてしまい、あるいは美しい姿を失ってしまいます。

盆栽は老若男女を問わず愛好家によって育てられますが、特に老人にとっての生きがいにもつながります。盆栽に興味を持つ仲間達が年に数回、福祉センターにおいて講師を招き、剪定や、管理の指導を受けております。

また、盆栽市や、展覧会等における観賞会にも出かけます。自慢の盆栽に、常に心を寄せることは老化防止につながるようになります。

三十七名の部員は、今日も水かけや管理に余念がありません。長寿社会における私達の生きがいです。



生産クラブの発足

部長 宇津木忠四郎



農村にあって稲藁を材料とした生活品が作れないかと、併せて高齢社会の中の生きがい制作が出来ないかとの模索から、第十番目の趣味クラブの「生産クラブ」、部長宇津木忠四郎、部員四十九名がこの四月から発足しました。

当初は、しめなわ飾りを作ることで、原材料となる藁の生産管理から始めることにしました。

圃場も学校区毎に自らが作ることにし、この栽培管理について先日、荃崎町に視察研修に参りました。

加入した会員達は正月用としてのしめ飾りを将来は全戸に配りたいと夢を持って取り組んでいます。

愛の福祉寄付金

社会福祉に役立てて欲しい
と次のように善意の寄贈が
ありました。(6月30日まで)
(一部村広報に記載済み)
ありがとうございました。

団体等名称	金額
木村利子	50,000
株 アイ・ケイ・ティ・オーナーズ	1,000,000
林恒雄	39,000
飯島キヨ	5,000
内藤幸子	1,550
高野芳雄	3,550
宮本珠算塾	2,150
小出芳男	30,000
千葉県北部ヤクルト KK	3,000
	1,134,250

四月二十一日、平成元年度
区長総会が村役場にてありま
した。この際恒例となった区
長・副区長出席者の善意とし
て、社会福祉への寄金が寄せ
られていました。今年からは
全員の総意として寄付するこ
とに決議されました。

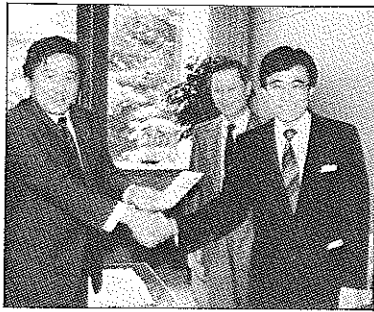
九万三千円が寄贈されます
本会の評議員になられている
区長さんを始め皆様方には、
日頃からお世話になっていま
うえ御好意までいただき、誠
に申しわけありません。

中央競馬会、美浦トレーニ
ングセンター尾形厩舎にあつ
て、競走馬として数々の成績
をあげ、このたび仔馬確保の
ため引退した駿馬コーセイを
記念するため、社会福祉に役
立てて欲しいと百万円の寄贈
がありました。

六月二日、馬主である株ア
イ・ケイ・ティ・オーナーズ
岩崎様から、トレセン幹部の
方々立合いのもとに市川会長
が受領して参りました。

とかく財源の確保に本会の
運営上の問題があるところな

ので、今後の活動に大きな力
となりました。ありがとうございます。



美浦村舟子の木村利子さん
から、亡夫の香料の一部を社
会福祉に役立てて欲しいと、
五万円の寄贈をいただきました。



第六十回稲敷地区メーデー
実行委員会代表林恒雄氏より、
メーデー時、バザー収益金と
して三万九千円の寄贈があ
りました。

美浦村石灘地区前副区長、
小出芳男さんから、手当の一
部として三万円の寄贈があ
りました。

愛の募金箱設置依頼場所

地区名	設置場所
郷馬宮美大木受大受	中山地駒谷原領谷領
	美浦村農協同組合窓口
	稲敷農安支所窓口
	美浦農安支所窓口
	常陽中央病院支店窓口
	鈴木商店美浦支店
	日沼本商店美浦支店
	沼有酒会社小沢石油
	美浦限会村中央公民館
	美浦村役場

村社協活動財源の確保のた
め、次の場所に御協力いた
だき募金箱を設置させていた
きました。

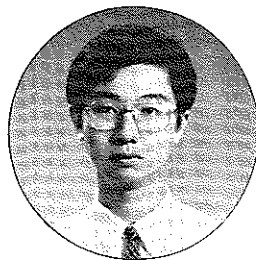
皆様方の御協力をお願い
いたします。



愛の募金箱に
ご協力下さい

村社協に奉職して

美浦村社会福祉協議会専任職員
比良政美



本年四月より、社会福祉法人美浦村社会福祉協議会（以下社協）に職員として勤務しております。

名前からもおわかりのように、私はもともと美浦村の人間ではありません。本籍は鹿児島県であります。私自身は生まれたときより約二十一年間東京で暮らしました。そして今春、日本社会事業大学社会福祉学部を卒業し、美浦村土屋へ転入してきたわけです。ですから村の事情や地理などは殆んどわからない状態です。従って、暇なときに地図を見たり、朝出勤前などたまたま村内を車でまわったりして地理を早く覚えるよう努力しているところであります。村の事情、地理などが何かわからないようではとて

も仕事になりませんので、一日でも早く頭に叩き込みたいと思っています。

さて、一口に社会福祉といいますが、その内容は実に様々です。そんな中で私が社協に魅力を感じましたのは、その地域に住む人達、すなわち美浦村で生活している人達と実際にふれあいながら仕事ができる、それも福祉を必要とする人達だけが対象ではなく、村の人達みんなが相手の仕事である、という点でした。昨年、美浦村社協で職員の募集がありました。採用基準もクリアしていましたが、千載一遇のチャンスとばかりにとびつきました。

なぜなら、町村社協は職員も少なく、役場とちがってその頻繁に職員の募集はないことを知っていたからです。まだ殆んど右も左もわかりませんが、一生懸命頑張りますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



雑感

ひとり暮らしの老人に愛の手を

今年になってから、本村の中で相ついで、ひとり暮らしの老人が亡くなっています。

長寿社会におけるお年寄りによりよい生活をしていただくために、四月から村の委託により、家庭奉仕員（ホームヘルパー）が配置されました。仕事の内容は、寝たきり、

社協に家庭奉仕員配置

お知らせ

勿論、この人達は親族、縁者の看とりもなく息をひきとっていたのです。どちらの方も死後二日ほど経過していたとのことでした。

高齢化社会と言われる今日、わが村でもひとり暮らし老人が少しずつ増えてきています。いづれにせよ老いた人生の予測は難しいことの一つです。他人事の問題ではないと思います。

これも最近の話ですが、ひとりぐらしの老人が血を吐き、救急車で運ばれましたが不幸にも亡くなられてしまったという噂が拡がりました。これは全くの事実無根の話。御本人は元気に生活しているのに、並びにひとり暮らしの老人の家庭を訪問し、お話しあい、あるいは掃除・洗濯などお年寄りの要望に応じて生活上の手助けをいたします。

新たに、家庭奉仕員となられた飛鋪順子さんは、土屋地区の方です。非常に熱心に取り組んでおります。派遣申し込みは、地区民生委員を通してください。なお詳細は、村役場住民福祉課までお願いいたします。

この世から抹殺されてしまったので迷惑の話と、いささか御立腹でした。

しかし、裏をかえして考えると、良い意味での関心を、ひとりぐらしの人達にむける住民の目や、耳であるなら、必ず愛の手を差しのべることになるのではないのでしょうか。今からの福祉は、お互いの助けあいや、いたわりのなかで安心して暮らせる社会づくりをすることであると云われております。

今回の一連のお年寄りにかかわる出来事は、大いに考えさせられることでありました。

あとがき

今回も、わがまちボランティア事業の指定年度なので、ボランティアニュースを中心に編集いたしました。

年二回の発行ですが、皆様方の福祉に関する意見を掲載したいと思っておりますので、御投稿下さるようお願いいたします。

（事務局）

